

平成 29 年度 千葉市中堅教諭等資質向上研修

# 社会体験研修プログラム

小・中学校でのキャリア教育推進に向けて

千葉市教育センター

## 本冊子の活用にあたって

平成 29 年度千葉市中堅教諭等資質向上研修の校外研修「社会体験研修」は、「社会とのつながりを意識した研修を行うことにより、社会のニーズや職業に関する情報を収集しキャリア教育を推進することのできる教職員を育成する」ことをねらいとして実施しました。受講者は、企業の歴史や理念を学び、学校現場では得られない様々な見識を身に付けることができたと思います。

本冊子は、社会体験研修を振り返ると共に、児童生徒が望ましい職業観を持ち、働くために必要な資質・能力をどのように身に付けていくかを考えるキャリア教育推進のための資料として作成しました。本冊子を、キャリア教育の実践に、少しでも役立てていただけることを願っています。

## 目次

### 1 社会体験研修

---

#### 社会体験研修の概要 . . . . . 2

社会体験研修に求められること

課題解決型社会体験研修 実地体験型社会体験研修

社会体験研修の内容 社会体験研修先

#### キャリア教育とは . . . . . 4

「キャリア教育」の必要性と意義

キャリア教育で育てる「基礎的・汎用的能力」

社会体験研修での学びをキャリア教育の実践につなげる

### 2 課題解決型社会体験研修

---

#### 課題解決型社会体験研修先の紹介 . . . . . 7

#### 研修の流れ . . . . . 9

### 3 実地体験型社会体験研修

---

#### 事業所での研修内容 3～5 見学、仕事体験 . . . . . 25

### 4 社会体験研修を生かしたキャリア教育実践事例

---

#### 事例 1 地域素材を取り入れた道德の授業 . . . . . 32

#### 事例 2 身近な経済に目を向けた社会科の授業 . . . . . 34

### 5 社会体験研修の振り返り

---

#### 1 課題解決型研修を終えて . . . . . 36

#### 2 実地体験型研修を終えて

#### 3 成果と課題

## 1 社会体験研修

平成 29 年度千葉市中堅教諭等資質向上研修校外研修の（※）「社会体験研修」は、「千葉市の経済・産業の現状やキャリア教育への理解を深めること」「異業種を体験し、仕事をするために必要な力を考えること」「事業所の課題について考え、解決策を提案すること」を目的として、143 名を対象に実施しました。

### ※千葉市中堅教諭等資質向上研修校外研修について

千葉市中堅教諭等資質向上研修校外研修では、教師としての資質・能力の向上を目指して、「必修研修」「課題別研修」「社会体験研修」の研修を行いました。

- |        |  |
|--------|--|
| 必修研修   | … 教職員のサービスとモラル、中堅教諭等に求められるリーダーシップ、今日的課題に関する研修等を行うことで、これからの学校の中核となる教職員として、身に付けるべき資質や能力の向上を図る。 |
| 課題別研修  | … 教科、生徒指導、教育相談、専門的職務等に関する個々のテーマを設定し、これらを解決するために授業実践を通して、主体的な課題解決と資質能力の向上を図る。                 |
| 社会体験研修 | … 社会とのつながりを意識した研修を行うことにより、社会のニーズや職業に関する情報を収集し、キャリア教育を推進することのできる教職員の育成を図る。                    |

## 社会体験研修の概要

### 社会体験研修に求められること

社会の変化が急速に進む今日、児童生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる能力や態度を育てること、いわゆる「キャリア教育」を充実させることが求められています。そのためにまずは教員が、千葉市の経済・産業の状況やキャリア教育に対する理解を深め、キャリア教育を実践するための資質・能力を身に付けることが必要です。そして、すべての教員が目標を共有しながら、各教科等に位置付けて指導することが大切です。しかし実際は、「職業調べ」や「職場体験」を実施することがキャリア教育と捉えられることが多く、勤労観・職業観の育成のみに絞られて指導されているのが現状です。

そこで、平成 29 年度中堅教諭等資質向上研修では、昨年度に引き続き、社会体験研修のねらいを「社会のニーズや職業に関する知識を深め、キャリア教育を推進することのできる教員を目指す」とし、研修を「課題解決型」「実地体験型」の2つの形で実施しました。社会体験研修での学びを生かし、キャリア教育を推進するリーダーとして学校現場で活躍することを期待しています。

### 課題解決型社会体験研修 受講者 49 名

事業所の取組を理解し、与えられた課題や社会のニーズについて考え、受講者同士が議論し、課題解決に向けての提案をする社会体験研修

#### 【課題解決型研修のねらいや視点】

- 千葉市の経済・産業についての理解を深める。
- 事業所の特徴を感じながら、実地体験をする。
- 事業所の理念、取組、課題等について知る。
- 事業所の課題について、解決策を考え、提案する。
- アクティブ・ラーニングの視点を学び、キャリア教育実践へつなげる。

### 実地体験型社会体験研修 受講者 94 名

働く人の思い、喜び、苦労などを感じながら、事業所で行われている仕事を実際に体験することを主とする社会体験研修

#### 【実地体験型研修のねらいや視点】

- 事業所の理念、取組について知る。
- 業務を体験する。
- 自分のできることを考えて働く。
- 働く人々とふれあい、思い、喜び、苦労を知る。
- 体験を通して学んだことを、キャリア教育実践へつなげる。

## 社会体験研修の内容

社会体験研修は、事前・事後の研修を含めて、6回実施

1回目（6月14日）

○講義

「キャリア教育の現状

～社会体験研修をキャリア教育実践につなげるために～」

2回目（6月～7月）

○事業所との打合せ

3回目～5回目（夏季休業期間中）

○事業所にて実地体験研修をする。

○事業所の理念や取組、課題について知る。

○事業所の課題について考える。

6回目（8月25日）

○講義・演習

「社会体験研修の振り返り

～社会体験研修をキャリア教育実践につなげるために～」

## 社会体験研修先

【課題解決型研修先】 受講者 49名

- ・イオン株式会社
- ・千葉市ふるさと農園
- ・千葉市立郷土博物館
- ・株式会社ケーヨー
- ・JFE スチール株式会社 東日本製鉄所（千葉地区）
- ・東京ガス株式会社 千葉支社
- ・株式会社ベイキューブシー
- ・株式会社スタートトゥデイ

【実地体験型研修先】 受講者 94名

- ・イオンモール キッズドリーム合同会社
- ・株式会社千葉ロッテマリーンズ
- ・株式会社千葉銀行
- ・京成バス株式会社長沼営業所
- ・千葉市科学館
- ・千葉市民ギャラリー・いなげ
- ・千葉市立加曽利貝塚博物館
- ・千葉市療育センターふれあいの家
- ・社会福祉法人オリーブの樹 オリーブ亥鼻福祉作業所
- ・社会福祉法人オリーブの樹 オリーブ鎌取福祉作業所
- ・ジェフユナイテッド株式会社
- ・株式会社オークラ千葉ホテル
- ・伸和ピアノ株式会社
- ・千葉県立美術館
- ・千葉県立中央博物館
- ・南部青少年センター

# キャリア教育とは

## 「キャリア教育」の必要性和意義

キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達（※）を促す教育」です。子供たちに将来、社会や職業で必要となる能力や態度を育むためには、学校で学ぶことと社会の接続を意識した、キャリア教育の視点が重要とされています。

キャリア教育は、特定の活動や指導方法に限定されるものではなく、様々な教育活動を通して実践されます。日常の教科等の学習指導において、見通しや振り返りを大切にしながら学ぶ「主体的・対話的で深い学び」を実現するなど、教育課程全体を通じてキャリア教育を推進する必要があります。

※キャリア発達とは……社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程

## キャリア教育で育てる「基礎的・汎用的能力」

【中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」（平成23年1月31日より）

### 人間関係形成・社会形成能力



多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力

例) 他者の個性を理解する力 他者に働きかける力

コミュニケーション・スキル チームワーク リーダーシップ等

### 自己理解・自己管理能力



自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互の関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき、主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力

例) 自己の役割の理解 前向きに考える力 自己の動機付け 忍耐力

ストレスマネジメント 主体的行動等

### 課題対応能力



仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力

例) 情報の理解・選択・処理等 本質の理解 原因の追究 課題発見

計画立案 実行力 評価・改善等

### キャリアプランニング能力



「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

例) 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解 多様性の理解

将来設計 選択 行動と改善等

これらの能力は、包括的な能力概念であり、必要な要素をできる限り分かりやすく提示するという観点でまとめたものです。この4つの能力は、それぞれが独立したものではなく、相互に関連・依存した関係にあります。このため、特に順序があるものではなく、すべての児童生徒が同じ程度あるいは均一に身に付けることを求められるものではありません。

これらの能力をどのようなまとまりで、どの程度身に付けさせるかは、学校や地域の特色、児童生徒の発達段階によって異なると考えられます。各学校においては、この4つの能力を参考にしつつ、それぞれの学校の課題を踏まえて具体的な能力を設定し、工夫された教育活動を通じて達成することが望まれます。

## 社会体験研修での学びをキャリア教育の実践につなげる

社会体験研修では、事業所での実地体験研修、事前・事後の研修を通して、多くの学びを得ることができます。事前・事後の研修ではキャリア教育について理解を深めるとともに、キャリア教育の先行実践例や授業の手法について、講義や演習を通して学びます。事業所での研修では、働くことを体験し働く人と関わりながら、広い視野で社会と触れ合う機会になります。これらの研修を通して、学校で行うキャリア教育の一層の充実が図られると思います。

社会体験研修を、キャリア教育の実践につなげるという視点を持って、研修に参加することは意義のある研修となります。

### 社会体験研修での学びをキャリア教育の実践につなげよう

(学びの例)

- キャリア教育の必要性や意義について理解する。
- これまでのキャリア教育の実践について知る。
- 千葉市の産業や経済の様子を知る。
- 事業所の人とコミュニケーションをとり、よい関係を築く。
- 働く人々の思いや願いを知る。
- 初めての仕事を体験することで、自分の新しい一面に気付く。
- 自分にできる仕事を見つけ、進んで働く。
- 事業所が直面する課題にどのように対応しているかを知る。
- 事業所から提示された課題の解決方法を考える。
- 受講者同士のグループにおいて、互いの立場を尊重しながら活動する。

教育活動全体を通じてキャリア教育を実施

- ・各教科 ・特別の教科 道徳 ・外国語活動
- ・総合的な学習の時間 ・特別活動

### キャリア教育を通して育てる「基礎的・汎用的能力」

- 人間関係形成・社会形成能力
- 自己理解・自己管理能力
- 課題対応能力
- キャリアプランニング能力

## 2 課題解決型社会体験研修

平成 29 年度の社会体験研修では、昨年度、民間教育事業者の協力を得て開発した「課題解決型社会体験研修プログラム」を引き続き実施するとともに、新たに 5 つの事業所の協力を得てプログラムを開発しました。8 つの事業所で 49 名の受講者が、3 日間にわたって課題解決型の研修に取り組みました。



## 課題解決型社会体験研修先の紹介

研修先として、「イオン株式会社」「JFE スチール株式会社 東日本製鉄所（千葉地区）」「千葉市ふるさと農園」「千葉市立郷土博物館」「株式会社ベイキューブシー」「株式会社ケーヨー」「東京ガス株式会社 千葉支社」「株式会社スタートトゥデイ」にご協力いただきました。

### イオン株式会社

設立：1926年 所在地：千葉市美浜区

主な事業内容：小売、ディベロッパー、金融、サービスなど

理念：お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献します。

連結従業員数：520,000名(2016年2月末)



300以上のグループ事業所を持つ東証一部の上場事業所。営業収益では日本の小売業の中で1位。

### JFE スチール株式会社 東日本製鉄所(千葉地区)

設立：2003年 所在地：千葉市中央区(本社は東京都)

主な事業内容：鉄鋼製品・半製品、チタン製品などの生産・加工

理念：JFEグループは、常に世界最高の技術を持って社会に貢献します。

連結従業員数：60,439名(2017年3月末)



海外にも事務所を多く持つ世界的事業所。粗鋼生産量、日本2位、世界8位の規模を誇る。

### 千葉市ふるさと農園

設立：1990年 所在地：千葉市花見川区

主な事業内容：農業演習や実習を通して千葉市の農業に対する理解を深める活動をします。

沿革：講習・実習を通して農業に対する理解を深められるよう「市民ふれあいの施設」として整備されました。



茅葺屋根の古民家や長屋門・水車小屋を配し、農産加工教室など農業・林業に関する各種教室を開催。

### 千葉市立郷土博物館

開館：1967年 所在地：千葉市中央区

主な事業内容：歴史資料、市内の文化財、民俗資料の収集展示など

沿革：昭和42年、観光課の所轄施設「千葉市郷土館」として開館し、昭和58年に「千葉市立郷土博物館」と館名を改め、主として歴史・民族系の博物館として再出発しています。



古代から中世にかけて下総国を中心に活躍した千葉氏の居住・千葉城跡に建てられた博物館。

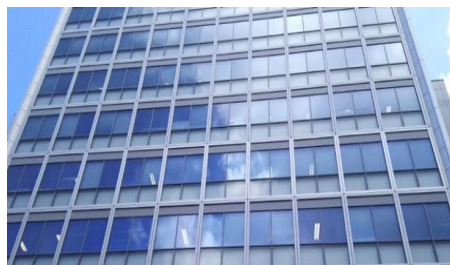
## 株式会社ベイキューブシー

設立：1991年 所在地：千葉市中央区

主な事業内容：システム開発・構築や Web サイトの制作・保守など

理念：人と企業・オープンでスピードのある会社・社会地域に貢献できる会社・東京湾沿いを変えていきます。

従業員数：47名(2017年4月末)



人と企業の繋がりを大切にするソフトウェア会社。千葉県の情報をまとめた「スマート千葉」も運用。

## 株式会社ケーヨー

設立：1952年 所在地：千葉市若葉区

主な事業内容：ホームセンターの経営

理念：当社は、チェーンストア経営によって、「豊かな消費生活を多くの人々が毎日楽しめるような社会を実現する」ことを目指しています。

従業員数：正社員 1,355名/ 準社員 122名/

パートタイマー 3,815名 (2017年8月末)



東証1部に上場。関東を中心として全国に180店舗(17年8月末)を展開している。

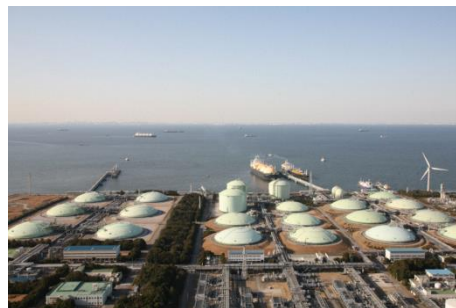
## 東京ガス株式会社 千葉支社

設立：1885年 所在地：東京都港区

主な事業内容：都市ガス、電気の製造・供給及び販売など

理念：「エネルギーフロンティア企業グループ」として、「快適な暮らしづくり」と「環境に優しい都市づくり」に貢献し、お客さま、株主の皆さま、社会から常に信頼を得て発展し続けていきます。

連結従業員数：16,823名(2017年3月末)



130年以上にわたって首都圏を中心に都市ガスを供給。日本で初めてLNGを導入。

## 株式会社スタートトゥデイ

設立：1998年 所在地：千葉市美浜区

主な事業内容：ファッションショッピングサイトの運営など

理念：「世界中をカッコよく、世界中に笑顔を」です。

連結従業員数：838名(2017年9月末)



日本最大級のファッションショッピングサイト「ZOZOTOWN」を中心に運営。1000以上のショップを扱う。

## 研修の流れ

研修プログラムは、6月から8月の期間、全6回で実施。1回目は「事前研修」、2～5回目は「各事業所での体験研修」、6回目は「事後研修」を行いました。

### 研修1 事前研修・・・6月14日(水)

研修1では社会体験研修に向けて、キャリア教育の基本的な考え方や方向性、キャリア教育の実践につなげる方法について、大学教授による講義を実施しました。

講義の後、研修先についてのオリエンテーションを行い、見通しを持って研修に取り組めるようにしました。



テーマ：「キャリア教育の現状

～社会体験研修をキャリア教育実践につなげるために～

講師：千葉大学教育学部教授・副学部長 藤川 大祐 氏

### 講義の概要

#### 1 情報化の近未来

2045年には人工知能が全人類の知能を超えて、現在からは想像できない社会が予想されます。著しく変化し続ける社会において、理論やデータに基づく問題解決学習が必要になることを前提に物事を考えていくことが大切です。

#### 2 キャリア教育の基本的な考え方

##### (1) キャリア教育の定義

「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」キャリア形成能力は、狭義には人間関係能力やキャリアプランニング能力などの基礎的・汎用的能力を示しています。広義には、勤労観・職業観や意欲態度、創造性や論理的思考力、基礎的・汎用的能力から、専門的な知識・技能まで幅広く示されています。

##### (2) キャリア教育の方向を微修正

社会で汎用的能力を強調しすぎると、愛想のよい人物が多くなります。多数派と同じような人間になると、誰でもできる仕事しかできなくなります。汎用性より希少性、他者との差別化が重要です。一つの強みだけでは差別化は困難。複数の強みを組み合わせることで、希少価値が出てきて、リスクの分散になります。学校での学習を、複数の強みをつくっていく過程としてとらえていくことが大切です。

教科の内容に関係した仕事は、数多くあります。膨大な教科教育の時間をいかに有効に使うかも重要です。「直接的なキャリア教育」だけでなく「間接的なキャリア教育」を実践しましょう。まずは教員が、効率、やりがい、ストレスマネジメント、チームワーク、危機管理、ワーク・ライフ・バランス等、多くの仕事で重視される要素を意識して働く必要があります。

### 3 キャリア教育の目標リスト

#### 《藤川提案：キャリア教育の目標リスト》

##### (1) 社会に参加する基礎

- ・ルールやマナー……………挨拶すること、約束を守ること、相手の時間を尊重すること等、社会人としてのルールやマナーの基礎を身に付けていること
- ・取材能力……………関わりがなかった人のところに出かけていき、その人の仕事や生き方について取材ができる能力

##### (2) 協力に関する能力

- ・協力獲得能力……………自分が実現したいことのために、多くの人々の協力を得る能力
- ・プロジェクト遂行能力…互いの違いを生かし、チームで協力して活動する能力

##### (3) かけがいのない自分

- ・社会貢献意識……………社会から受けた「恩」に報いることを目指し、社会に貢献できる「利他的な夢」を描こうとする態度を身に付けていること
- ・自己肯定感 …………… 他者と違う自分のよさを理解し、「一人でも世界を（少しは）変えられる」という感覚を持つ

##### (4) 戦略的な生き方

- ・縁や出会いの尊重……………遭遇した状況に応じて柔軟に計画を修正し、状況の変化を積極的に活かそうとする態度
- ・提案説明能力……………さまざまな制約の中で実現可能な計画を提案し、周囲の人の理解を得られるよう説明できる能力

### 4 これからのキャリア教育に向けて

- ・運、縁、恩  
→決定的な機会となり得る出会いの機会を増やす。
- ・セーフティネットとしての「つながり」  
→地域を基盤とし、地域外の人とも緩やかにつながっていく。
- ・根拠のある自尊感情  
→小さい成功を重ねていく。大人とのかかわりで認められる。
- ・クリティカル・シンキング  
→「覚えたことをする」だけでなく、「自分の頭で考える」。
- ・呼吸するように学ぶ  
→昨日の難問が今日は解決しているかもしれない。
- ・健康な職業生活  
→「上機嫌な職場」へ。ストレスマネジメント、ワーク・ライフ・バランスも。
- ・社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）と多様性（ダイバーシティ）  
→地域社会の問題に関わる。

(藤川教授作成資料抜粋)

## 研修 2 各事業所での事前打合せ 6月～7月

夏季休業期間中の3日間、各事業所で実施する体験研修内容やスケジュールを確認しました。

### 《打合せ内容》

- ① 研修内容について（見学、体験、課題解決に向けての流れ）
- ② 研修場所、集合場所の確認
- ③ 出勤・退勤時間（集合時間）、連絡方法の確認
- ④ 研修内容に合った服装、必要な持ち物について
- ⑤ 昼食について（弁当・外食・社員食堂）

### ○ イオン株式会社

担当者と研修生で、研修の進め方について話し合いました。イオンを選んだ理由や勤務校のある地域についてなど、研修生それぞれの考えや環境を知り、研修の見通しを持ちました。3冊の本（「すべてはお客様のために」「小売業の繁栄は平和の象徴」「あしあと」）を読み、予備知識を得るように課題が出されました。

### ○ JFE スチール株式会社東日本製鉄所（千葉地区）

会社の取組や工場見学のスケジュールについて説明を受けました。

### ○ 千葉市ふるさと農園

ビニルハウスや農園など、活動場所を確認しました。

### ○ 千葉市立郷土博物館

イベントや学芸員の仕事について説明を受けました。

### ○ 株式会社バイキューブシー

「スマート千葉」についての説明を受け、研修前に地域の祭りやイベント、動植物の話題など、広めたい千葉の情報を考えてくるように課題が出されました。

### ○ 株式会社ケーヨー

ケーヨーD2鎌取店、新港店の店長に挨拶し、持ち物等の確認をしました。

### ○ 東京ガス株式会社 千葉支社

会社の取組や研修内容について説明を受けました。

### ○ 株式会社スタートトゥデイ

研修生一人一人が担当者と、研修内容について打ち合わせました。



【ふるさと農園内の説明】



【バイキューブシーの会社紹介】





【東京ガスについての説明】

# 研修 3～5 見学、仕事体験、課題解決のためのリサーチ 7月～8月

## 1 イオン株式会社

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
7月25日(火) 8:50～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオン環境財団の概要説明</li> <li>・社会環境への取組</li> <li>・イオンの企業理念、歴史について学ぶ。</li> <li>・イオン歴史館見学</li> <li>・震災時の取組 (DVD 視聴)</li> <li>・プレゼンテーマについて話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○原点に返ることの大切さ</li> <li>○民間企業の取組の実際</li> <li>○社会変化対応</li> <li>○チームで取り組む大切さ</li> <li>○誰のために、何のためにやるのか。対象を決め目標の見通しを明確に持つこと</li> <li>○誇りを持った仕事をする事への重要さ</li> </ul>
8月2日(水) 8:50～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスカッション</li> <li>「これからの教育について、イオンでの学びを振り返り、10年目の教師がすべきこと」</li> <li>・テーマについて考えを深める。</li> <li>・発表構成を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業に対する見方の変化</li> <li>○自分たち聖職者としての立場</li> <li>◎コミュニケーション能力</li> <li>◎考え、意見を伝える力</li> <li>◎意見を集約しまとめる力</li> </ul>
8月23日(水) 8:50～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表準備</li> <li>・プレゼン内容をまとめる。</li> </ul> <div data-bbox="438 1256 903 1597" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="563 1608 782 1637">【研修の成果を発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール、目標を決め(〇〇年後の姿) それに向けて話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ビジョンを持つ</li> <li>◎伝える力</li> <li>○今の私たちに何ができるか、何をすべきなのか。</li> </ul> <div data-bbox="927 1352 1377 1682" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="986 1693 1326 1722">【他のチームの発表を聞き質問】</p>
<p>《研修の特徴》</p> <p>創業 260 有余年の歴史を有するイオンが、激変する環境下で、いかに人を育み、現在の企業、企業集団を創り築き上げてきたのかを、歴史や現在の業容を通じて学んでいただきます。そして、教育現場の最前線で、必要なマインドや視点、更には自分自身の在り方について、参加メンバーのディスカッションを通して考えて考えて、考え抜いていただきます。</p>		

## 2 JFE スチール株式会社

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
8月8日(火) 9:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の概要説明</li> <li>・記念館、製鉄所内見学</li> <li>・高炉、転炉、熱延工場見学</li> <li>・危険回避体験</li> <li>・発表に向けての話し合い、取材</li> <li>・チームづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業努力 ○働く人の誇りや熱意</li> <li>○千葉市の企業なのに意外と知らないことが多い。</li> <li>○オートメーションの発達した中に「人」の活躍があった。</li> <li>◎コミュニケーション力</li> </ul>
8月16日(水) 9:00～16:30	<<課題>> 「千葉市の小・中学生が JFE の仕事に憧れて、入社したくなるような鉄のドラマを企画すること」   <b>【仕事について質問】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレインストーミング(※1)</li> <li>・アイデアを出し合い、発表の構成を考え、プレゼン作成</li> <li>・プレゼンの途中経過を見てもらう。→総務の方よりアドバイス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎リサーチ力 ◎情報収集力</li> <li>◎節度、礼儀</li> <li>○否定しないでアイデアを出すことの大切さ、まとめることの難しさ</li> <li>○やりがいや達成感を持つとはどういうことか。</li> <li>○チームで動くということ</li> </ul>  <b>【ブレインストーミングで発想を整理】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎見通しを持つ力 ◎取捨選択</li> <li>◎企画力、表現力</li> <li>◎発想力、共感力 ◎相互理解</li> </ul>
8月23日(水) 9:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラッシュアップ(※2)</li> <li>・プレゼン準備、発表</li> <li>・各グループの発表見学</li> <li>・振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業は利益だけでなく、社会貢献するための人材を求めている。</li> <li>◎プレゼン力 ◎チームワーク</li> <li>◎基盤となる知識</li> </ul>
<b>《研修の特徴》</b> 地元にある世界トップクラスの技術を持った企業の理念や取組を知ることができます。工場見学や働く人の話から、仕事に対する誇りや熱意を感じることができ、キャリア形成につながります。また、課題を解決していく過程を通して、情報整理やチームワーク、プレゼン力を養うことができます。		

※1 ブレインストーミング：創造性を開発するための集団的思考の技法の一つ



※2 ブラッシュアップ：磨きをかけ、さらによくすること

### 3 千葉市ふるさと農園

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
7月26日(水) 9:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>大豆畑の草刈り、土寄せ</li> <li>施設見学、施設説明</li> <li>農村文化について</li> <li>職場体験について</li> <li>学校での生かし方について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農村文化を残していく、伝えていくことの大切さ ○農業を広める難しさ</li> <li>○現代農業との違い</li> <li>○異業種の人と自ら関わり、相手の考えを知る。</li> </ul>
8月16日(水) 9:00~16:30	《テーマ》 「ふるさと農園の学校での活用 法を考える」	 <p style="text-align: center;">【考えを書き出す】</p>
	 <p style="text-align: center;">【市民の方とネギ畑の草取り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校でどう生かすか話し合う</li> <li>・プレゼン準備</li> <li>・小学校低学年、高学年、中学校に分かれて、生かし方をまとめる。</li> <li>・プレゼンリハーサル</li> <li>・事業所の方に見ていただき、アドバイスをもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎コミュニケーション力</li> <li>◎農業に関する知識 ◎体力</li> <li>○土のやわらかさによって、草のぬけ方が違う。</li> <li>○年配の方が熱心に作業している。</li> <li>○協力する大切さ。みんなで意見を出すといろいろなアイデアが出る。</li> <li>○軌道修正</li> <li>○納得いくまで話し合う。</li> <li>○農業を学びたい人は多いが若い人は少ない。</li> <li>○他の事業所ごとの充実した活動を知り、刺激を受けた。</li> <li>○共感し、自分事で聞く。</li> </ul>
8月23日(水) 9:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラッシュアップ</li> <li>・プレゼンの準備、発表</li> <li>・各グループの発表見学</li> <li>・振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎プレゼン力</li> <li>◎PC操作技能 ◎発表する力</li> </ul>
<p>《研修の特徴》</p> <p>施設見学や農村文化についての講義を通して、農業についての見識を深めます。土に触れ、農業体験（草刈り）をする中で、市民の方の農業に対する思いを聞くことができます。体験から得た情報をもとに課題解決していく過程を通して、情報整理やチームワーク、プレゼン力を養うことができます。</p>		





## 4 千葉市立郷土博物館

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
8月17日(木) 9:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土博物館の概要説明</li> <li>・郷土博物館見学</li> <li>・千葉氏について</li> </ul>  <p style="text-align: center;"><b>【千葉市の歴史を学ぶ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土博物館の役割、催し物</li> <li>・学芸員の仕事について</li> </ul> <p>《課題》</p> <p>「千葉市のルーツ千葉氏を題材にした千葉市の若者たちを元気にする英雄（伝説）ドキュメンタリーを企画すること」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若い人たちも興味を持てるような楽しい体験講座が多くある。</li> <li>○市民に対する博物館の役割、位置付け</li> <li>○市民に伝える使命、努力</li> <li>○千葉市、千葉氏についての理解</li> <li>○若者離れが課題</li> <li>◎資料収集、コミュニケーション力</li> <li>◎情報のアウトプット力</li> <li>○市民へのサービス、安全面を含む、より良いイベントの配慮</li> <li>○火縄銃の知識や広報活動の大切さ</li> <li>○火薬をつめる動作や音の大きさなど、実際に見て初めてわかることがあることを知った。</li> </ul>
8月20日(日) 9:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火縄銃体験</li> <li>・火縄銃演武のサポート</li> <li>・千葉氏 PR ドキュメントのプレゼン作成</li> <li>・プレゼンリハーサル</li> <li>・事業所の方に見ていただき、アドバイスをもらう。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;"><b>【火縄銃演武の方にインタビュー】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体験は、大人に興味を持たせる。</li> <li>◎構成能力、資料活用能力</li> <li>◎コミュニケーション能力</li> </ul>
8月23日(水) 9:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラッシュアップ</li> <li>・プレゼン準備、発表</li> <li>・各グループの発表見学</li> <li>・振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎コミュニケーション能力</li> <li>○相手意識が大切である。</li> </ul>

### 《研修の特徴》

郷土博物館の役割や学芸員の仕事、千葉市について詳しく知ることができます。また、火縄銃体験や火縄銃演武のサポート体験をします。千葉氏の歴史まんが資料「千葉常胤公ものがたり」の活用や郷土教育についての学びを深めることができます。

## 5 株式会社バイキューブシー

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
7月25日(火) 9:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の概要、企業理念の説明</li> <li>・ミッションの説明</li> <li>・情報リテラシーについての講話</li> <li>・著作権や情報セキュリティー</li> <li>・ブログ投稿の手順について</li> <li>・ブログ作成、投稿</li> </ul> ≪ミッション≫ 「スマート千葉を活用して、千葉の学校と地域がつながるインターネットサービスを企画提案すること」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報モラルを教えるうえで、研修がより必要</li> <li>○情報の取扱いに十分な知識が必要</li> </ul>  <p style="text-align: center;">【情報モラル研修】</p>
7月26日(水) 9:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレインストーミング、マッピングで課題の出し合い</li> </ul>  <p style="text-align: center;">【課題の整理】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報は、会社インフラのひとつ</li> <li>◎文章作成能力</li> <li>◎興味をひく記事作成のための言語能力(表現力)</li> <li>○学校現場の課題をもう一度考える。今回のミッションをもとに、学校のオープン化、スピード化が必要</li> <li>○15秒ルール、3つという数、説得力を出す。</li> </ul>
8月23日(水) 9:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼン資料の作成</li> <li>・プレゼンに向けて内容を精査</li> <li>・プレゼンの準備、発表</li> <li>・他の社会体験を聞いて、共有</li> <li>・各グループの発表見学</li> <li>・今後学校での生かし方</li> <li>・振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎プレゼン資料を作成する力</li> <li>○協力、チームワークの大切さ</li> <li>○発信の難しさ</li> <li>○段階的な情報教育の難しさ</li> <li>◎プレゼンテーション能力</li> <li>◎コミュニケーション能力</li> </ul>
<p>≪研修の特徴≫</p> <p>情報リテラシーや著作権、情報セキュリティーについて、学ぶことができます。</p> <p>「スマート千葉」の検索やブログの投稿などの活動を通して、オープン化、スピード化の大切さを体験することができ、地域のよさを発見し、地域のよいところを発信しようという意欲が高まります。</p>		


## 6 株式会社ケーヨー（ケーヨーD2鎌取店・ケーヨーD2新港店）

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
8月2日（水） 9:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身支度、朝礼、清掃</li> <li>・会社の説明、講義</li> <li>・接客について</li> </ul>  <p style="text-align: center;">【店員としての心構えについて】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お客様第一</li> <li>○お客様への細やかな気配り、配慮</li> <li>○細かいところまでの掃除</li> <li>○品切れさせない工夫</li> <li>○挨拶はどこでも大事</li> <li>◎先を見通す力 ◎気付き力</li> <li>◎臨機応変な対応力</li> <li>◎協力性、積極性</li> </ul>
8月3日（木） 9:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身支度、朝礼、清掃</li> <li>・サッカー作業</li> <li>・レジ袋詰め、品出し、商品管理</li> <li>・DIY体験、店内リサーチ</li> </ul>  <p style="text-align: center;">【品出し、前出し】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○システムの変更への対応</li> <li>○振り返ることの大切さ</li> <li>○チームで作り上げる大切さ</li> <li>◎チーム力</li> <li>◎発想力</li> <li>◎メタ認知力</li> <li>○経営理念、仕事への思い</li> </ul>
8月23日（水） 9:00～16:30	<p>《課題》</p> <p>「千葉市の小学生が、DIYにロマンを抱くケーヨードイツのPR映像を企画提案すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼン資料作成</li> <li>・プレゼン準備、発表</li> <li>・他の社会体験を聞いて共有</li> <li>・各グループの発表見学</li> <li>・振り返り</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">【プレゼン資料作り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○企業も学校現場も共通して求められるものがある。</li> <li>◎プレゼン力 ◎チーム力</li> <li>◎取捨選択する力</li> <li>◎表現力、アピール力</li> </ul>
<p>《研修の特徴》</p> <p>朝礼から品出し、「お客様第一」の接客などの業務体験を通して、多くの人と関わります。会社の一員としてDIYについて学び、身近なものを見直します。そして、チームでものづくりを通じた生活の工夫を考えていきます。</p>		

## 7 東京ガス株式会社 千葉支社

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
7月31日(月) 9:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・袖ヶ浦 LNG 基地の見学</li> <li>・会社概要の説明</li> <li>・エネルギー講座</li> <li>・学校教育活動と講座について</li> <li>・千葉県夢チャレンジ体験スクール支援活動</li> <li>・支社講座「燃料電池って何だろう」補助活動</li> </ul>	<p>○企業の考え。企業理念を知る。 ○責任感、使命感、やりがいを持って取り組む。</p>  <p>【体験スクール補助活動】</p>
8月8日(火) 9:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様センター見学、情報交換</li> <li>・導管ネットワークセンター見学</li> <li>・概要説明、作業デモ、質疑応答</li> <li>・ガスライト 24 見学</li> <li>・概要説明、車両見学、質疑応答</li> </ul>	<p>○ガスが手元に届くまでの様々な工程がある。 ○製造現場の工夫や努力</p>
8月23日(水) 9:00~16:00	<p>◎興味を持って話を聞く姿勢 ◎チームワーク力 ◎コミュニケーション力 ◎クレームに冷静に対応できる力 ◎組織を生かした対応力 ◎問題解決能力</p> <p>《テーマ》 「小中学生がガスを身近に感じる PR を考える」</p>  <p>【プレゼンの構成を話し合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の社会体験を聞いて、共有</li> <li>・各グループの発表見学</li> <li>・振り返り</li> </ul>	 <p>【パンフレットを活用したプレゼン】</p>
<p>《研修の特徴》</p> <p>袖ヶ浦 LNG 基地、お客様センター、ガスライト 24 の見学や支援活動の補助体験を通して、企業理念や具体的な取組を知り、環境・エネルギーについて理解を深めることができます。また、課題解決学習をチームで行うことで、役割分担の大切さを経験できます。知識や意欲を含めた事前準備、行事に対する細かな配慮と共通理解の大切さを体験できます。</p>		

## 8 株式会社スタートトゥデイ

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
<p>1日目 A 8月1日(火) B 8月7日(月) 10:00~16:00</p> <p>2日目 A 8月2日(水) B 8月8日(火) 10:00~16:00</p> <p>3日目 A 8月3日(木) B 8月9日(水) 10:00~16:00</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の成り立ちや企業理念の説明</li> <li>・質問に答えることを通して自分の考えや思いを知る。</li> <li>・目標の見える化</li> <li>・働くことに対する意識と向き合う。</li> <li>・学校を企業としてとらえる。</li> <li>・自分の業務の振り返り</li> <li>・学校ステークホルダー(※3)</li> <li>・学校の中の部門、役割</li> <li>・カリキュラムマネジメント</li> <li>・タイムマネジメント</li> <li>・スケジュール管理</li> <li>・成果指標 (いつまでに、何を、どのくらい)</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>【悩みの解決策を話し合う】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決策の話し合い</li> <li>・悩みを共有し解決する。</li> <li>・ビデオ視聴</li> <li>・振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分自身の考えに気付かされた。</li> <li>○考えの幅が広がった。</li> <li>○自分自身と向き合えた。</li> <li>○自分の仕事は、世界平和につながる。</li> <li>○企業も高い理念を持っている。</li> <li>○所属校で、どんなことが行われているか、知らないことが多い。</li> <li>○学校のステークホルダーを知る。</li> <li>◎自己理解</li> <li>◎想像する力</li> <li>○自分の仕事を可視化することで、仕事量や仕事内容が見えてきた。</li> <li>○仕事の細分化が難しい</li> <li>○成果指標を考える。</li> <li>○価値を意識する。</li> <li>◎タスク管理力</li> <li>◎創造力</li> <li>◎創作力</li> <li>○教員でも立場で悩みが違う。</li> <li>○弱みを生かしてチームで働く。</li> <li>○相手が気持ちよく働けるように力を引き出す。相手を知る。</li> <li>○相手に大きな期待をしない。</li> <li>◎自分で成長する力</li> <li>◎オープンマインド</li> <li>◎コミュニケーション力</li> </ul>
<p>《研修の特徴》</p> <p>教員としての自分、中堅教諭としての立場などを考え、必要な研修をつくりあげます。教師や学校が抱えている課題を明らかにし、チームで対応策を話し合います。話し合いを通して、チームとして前向きに他者を理解することや目標の立て方、時間の使い方、相手を生かすために自分がどう動くかを考えることができます。</p>		

※3 ステークホルダー：企業（学校）に利害関係を持つ人や組織

## 研修5 課題解決のプレゼンテーションと振り返り

事業所の方々へのプレゼンテーション・・・8月23日(水)

場所：イオン会議室

すべてのグループが集まって、課題に対する提案をしました。

午前中は、企画のブラッシュアップや、プレゼンのリハーサルを行い、午後は各事業所から集まってくださった担当者の方々の見守る中、受講者が社員の立場で考えたプレゼンテーションを実施しました。

各事業所の担当者からは、グループごとに内容を講評していただき、実際に仕事として課題への取組を行う人の視点を学びました。

3日間の研修を振り返り、この体験を今後どう生かしていくのかを話し合いました。

9:00- プレゼン資料の作成とブラッシュアップ

10:40- リハーサル

12:00- プレゼンテーション

15:25- 全体の振り返り

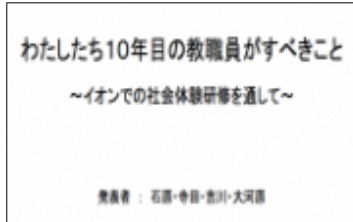


発表内容をよりよくするために意見交換



事業所の方々が見守る中、最後までこだわり抜いて考えた企画を発表

### 【各グループのプレゼンテーションの概要】



#### 1 イオン株式会社 (チーム名：イオンチーム)

課題：どのような子供を育てていくか、そのために教員は何をすべきか

「10年目の教員がすべきことは」というテーマでディスカッションを重ねた結果をプレゼンし、「変化が激しい社会で、愛情を持ち、主体的に学び、心身ともに健康な子供を育てていくべきだ」と提言しました。



#### 2 JFEスチール株式会社 (チーム名：JFEスチール)

課題：千葉市の小・中学生がJFEスチールの仕事に憧れて、入社したくなる"鉄のドラマ"を企画すること！

「地元千葉でJFEに興味を持つ子供を増やしたい」という担当者の思いからこのミッションに取り組みました。JFEスチールで働く父親が仕事について息子に語るドラマを企画し、JFEの魅力を表現しました。



#### 3 JFEスチール株式会社 (チーム名：チームHIMY)

課題：千葉市の小・中学生がJFEスチールの仕事に憧れて、入社したくなる"鉄のドラマ"を企画すること！

「下町ロケット」をモチーフにした、スカイツリーに使われる鉄を新たに社員一同で開発するドラマを企画しました。熱意あふれる仕事人に焦点をあてることでJFEの高い専門性が自然と理解されるような工夫をしました。



#### 4 千葉市ふるさと農園 (チーム名：ふるさと農園チーム)

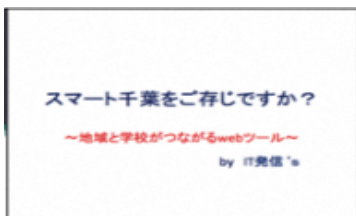
課題：ふるさと農園を活用した授業や活動を提案する

教師も児童生徒も農業に関する知識が不足していることが課題であると分析しました。ふるさと農園の方の力を借り、教師がまず知識をつける体験をすることを提案しました。



**5 千葉市立郷土博物館(チーム名：チーム郷土博物館)**  
**課題:千葉市のルーツ“千葉氏”を題材にした千葉市の若者たちを元気にする英雄(伝説)ドキュメンタリーを企画提案すること！**

中高生以降の若者離れが課題である博物館に、「千葉氏」に興味を持つような提案をしました。ある小学校に転入した6人の児童。実は先祖が同じ千葉氏で、その活躍をタイムスリップして振り返るストーリーでした。



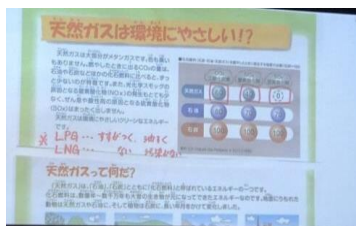
**6 株式会社ベイキューブシー (チーム名：チーム IT 発信's)**  
**課題:「スマート千葉」を活用して千葉の学校と地域がつながるインターネットサービスを企画提案すること！**

「より多くの千葉県民が利用するサービスにしたい」という会社の願いに応えるプレゼンをしました。“学校名”から地域情報が検索でき、それによって地域と学校のつながりをスマート千葉によって実現する構想を示しました。



**7 株式会社ケーヨー (チーム名：チーム ケーヨーD5)**  
**課題:千葉市の小・中学生がDIYにロマンを抱くケーヨーデーツーのPR映像を企画提案すること！**

「店舗に足を運ぶお客様が少なくなった」という課題に対し、「より身近でハードルの低いDIY」や親子で取り組むDIYなど提案し「自分で作りたい」という子供心をくすぐる映像プランを発表しました。



**8 東京ガス株式会社 (チーム名：チーム東京瓦斬)**  
**課題：東京ガスで学んだことの授業への生かし方**

2日間、ガスが家庭に届くまでの過程を施設見学して学んだことを発表しました。小学校の社会科の授業、中学校の家庭科の授業でガスをテーマに授業を行っていくことを伝えました。

**事業所の方々の感想**

- ・ふるさと農園が大事にしている『古きよき農村文化や豊かな自然』を、子供たちの興味を喚起するような形でまとめられていたと思います。(千葉市ふるさと農園)
- ・私たちが伝えた東京ガスの活動が、発表ですべて網羅されていました。発表でも子供向けに分かりやすい教材を提案していて非常に良かったです。(東京ガス)
- ・イオンを体験するディスカッション中心の研修でした。その中で、教師としての志、千葉市の将来像など熟考していただいて、今日はとてもいいアウトプットを見ることができました。(イオン)
- ・ITの重要性や利便性、時代の流れを感じ取ってもらえたと感じる発表でした。(ベイキューブシー)
- ・発想力と調査力が素晴らしかったです。身近に感じさせること、社員の想いを伝えることができていました。(JFEスチール)
- ・難しい課題でしたが、アイデアがよく工夫されており、事業運営の参考になりました。(郷土博物館)
- ・発表がまとまっていて、DIYの良さや考え方が児童生徒に伝わりやすい発表でした。(ケーヨー)

**受講者の感想**

- ・いくつかの事業所、企業の社会貢献の形や企業理念、仕事に対する情熱や誇りなどを知ることができました。
- ・自分が体験したことをそのまま子供に体験・実感してもらいたいし、課題解決方法は他教科で使える方法だと思いました。
- ・地域の仕事や業種について知ることは、自分たちの環境を知り、生き方についても知る機会になりました。
- ・子供たちが将来こんな職業に就いてみたいという気持ちを刺激するような企業努力やその為に行っている様々な取組と一緒に参加したことで、子供の気持ちになって考えることができました。

## 研修 6 事後研修・・・8月25日(木)

研修全体の振り返りと、体験で得たことを授業に生かすための授業案作成ワークショップを主に行い、3日間の体験と日々の授業とをつなげるための研修として計画しました。

テーマ：「社会体験研修振り返り

～社会体験研修をキャリア教育実践につなげるために～」

講師：トゥワイス・リサーチ・インスティテュート シニアディレクター 西崎 敦文

### 講義の概要

#### (1) キャリア教育が必要とされる背景と社会体験研修とのつながり

経団連による「2016 年度企業が新卒学生に求める能力」アンケート結果は、1位コミュニケーション能力、2位主体性、3位協調性、4位チャレンジ精神でした。つまり、社会では仲間と協力して主体的に仕事に挑戦する人材が求められているということです。そのため、学校では実践的・体験的なキャリア教育が必要とされています。

社会体験研修は、先生方自身が実際に体験して学ぶことで実感として児童生徒に伝えられるようにするための研修です。本研修では、体験してきたことを振り返って、授業案を考えていきました。

#### (2) 授業実践のヒント ～キャリア教育の実践事例紹介と授業構築の際の手順～

今回は、体験したことを課題解決型の授業に生かす際の手順・ポイントを7つ紹介します。

STEP 1：目的を伝える STEP 2：ゴールを示す STEP 3：チームをつくる STEP 4：課題を与える  
STEP 5：時間を与える STEP 6：発表をさせる STEP 7：振り返りをさせる

まず何のために学ぶのか、何をすれば達成なのかを示し4、5人でチームを組みます。そして、課題を提示し、解決するための話し合いの時間を設け、アウトプットします。

発表して終わりではなく、取組を通して何を学んだかを自分たちで振り返り、体験を定着させることが学びを効果的にする重要なポイントです。

STEP 1～3までは、児童生徒が主体的に取り組むための準備、仕掛けづくりの部分。

STEP 4～6までは、課題に夢中になって取り組ませるための設定、環境づくりの部分。

STEP 7は、取り組んだ課題から離れ、客観的に活動を振り返ることで、次回に結びつけるための部分です。



社会体験研修を受けたすべての受講者が集合して振り返り。真剣な眼差しで、キャリア教育についての講義を聞いています。



事業所ごとに分かれて、チームで話し合いながら授業案づくり。授業構成・アイデアについて熱い議論が飛び交います。



### (3) 授業実践のためのワークショップ

「7つのステップ」ごとに自らの授業に当てはめて考え、考えたことをチーム内で共有してブラッシュアップしました。ワークシートに記入した後、体験で得たことを生かした授業案をチーム内で発表し合い、メンバーとフィードバックしました。

- ①「7つのステップ」に沿ってワークシート記入
- ②チームで共有
- ③授業案を書く
- ④授業案を発表



7つのステップに沿って、授業案を作成しています。

#### ○ワークショップ内で出た授業のアイデア

「ビルダーカードを使ってチームで協働する力を育む図工授業」

対象学年：小学校5年 図画工作

教材・題材：ビルダーカード

授業時間数：2時間

身に付けさせたい力：コミュニケーション能力、発想力、構想力、鑑賞の能力

目的とゴール：自己解放すること、友達と共同作業すること

授業の概要：チームを組み、チームで一つの町をつくる。

「○○な町」というテーマも決め、その理由と併せて最後に作品を発表する。

「ガンダムを題材として、ディスカッション力を身に付ける授業」

対象学年：小学校5年 国語

教材・題材：ガンダム

授業時間数：10時間

身に付けさせたい力：他者理解

目的とゴール：世界平和、立場が変わると“正義”も変わることを知る

授業の概要：「ガンダム」の連邦軍とジオン軍の二手に分かれる。

それぞれ戦う理由と考える正義を資料から考え、それぞれの主張をディスカッションする。



教科書や指導計画にとらわれず、自由な発想で作成した授業案を発表しました。

「地元の町の魅力を発信する媒体をつくり、地域への理解を深める授業」

対象学年：小学校3年 総合的な学習の時間

教材・題材：地元の町

授業時間数：12時間

身に付けさせたい力：主体性、コミュニケーション能力、発想力、構成力、チームワーク

目的とゴール：自分たちの住む町の「○○ウォーカー」をつくろう！

授業の概要：「町の興味のあること」でグループ分けをする。町の魅力を調べてガイドブックを作成する。

### 3 実地体験型社会体験研修

平成 29 年度の社会体験研修は、「実地体験型研修」を 16 の事業所で実施し、94 名が、3 日間、研修に取り組みました。それぞれの研修内容や研修を通して「気付いたこと」、受講者が感じた「働くために必要な力」を掲載しました。キャリア教育の計画を立てる際、「児童生徒に身に付けさせたい力」の検討資料として活用ください。

## 事業所での研修 3～5 見学、仕事体験

### 1 株式会社千葉銀行

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
7月25日(火) 9:00～17:00	・銀行業務の基礎知識について ・本店営業部見学 ・広報活動について	○社会貢献に力を入れている ○利益のみではない ○幅広い視野、知識、様々な業務や個に応じた対応力が必要
7月26日(水) 9:00～17:00	・資金メールセンター見学 ・金融資料室見学 ・ビジネスマナー、電話対応について	○マナー、一般常識、社会人スキル ○相互評価により、やる気アップ ○広報誌で人間関係づくりを深めている
7月27日(木) 9:00～17:00	・小中学生向け職場体験について ・ダイバーシティ推進活動について ・人材育成について ・苦情とその対応について ・マネープランゲーム・フィンテック ・市場営業部見学とマーケット講義 ・ひまわりギャラリー見学 ・ちばぎんハートフル見学 ・意見交換会	○職員の働き方の改善、働き方改革 ○子供にもできる人生設計 ○笑顔、声のかけ方 ◎コミュニケーション力 ◎礼儀作法 ○世界の金融の動向 ○人を大事にしている ○障害者雇用 ◎世の中に目を向ける力 ◎挑戦する人を応援する

### 2 イオンモール キッズドリーム合同会社

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
7月25日(火) 9:00～16:00	・カンドゥーオリエンテーション ・パーク内見学 ・担当ベニュー(会場)の見学、手伝い	○企業理念、社員教育がしっかりしている ○笑顔 ○相手の視点で考える ○全体を見る ○個に応じた対応
7月26日(水) 9:00～16:30	・シナリオを覚える。 ・コスチュームについて	○体験を通し、身に付けさせたい力を具体的にイメージする ○お金の取り扱いの練習
7月27日(木) 9:00～16:30	・オンワード ファッションスクエア受付、着替え補助、掃除 ・アクティビティ(仕事体験)補助 ・オープン準備 ・他のベニュー(会場)の見学	○人によって対応が違うのはよいのか? ○幅広い年齢に対応 ○「お客さま」としての子供の扱い ○ブランドパートナーの理念を理解し伝える ○企業に所属しているという自覚 ○ただの仕事体験ではない ◎仕事を把握し、実行する責任感 ◎実技、演出力

### 3 株式会社オークラ千葉ホテル

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
7月26日(水) 9:00～17:00	・オリエンテーション ・宿泊業務体験 ・客室のベッドメイキング	○時間内の手際の良さ ○仕事や業務へのこだわり ○スタッフの協力 ○チームワーク
7月27日(木) 9:00～17:00	・施設内見学 ・サービス業について講話(ホテルの現状等)	◎お客様に、気持ちよく過ごしてもらおうとするおもてなしの心 ◎必要なことを見通す力
7月28日(金) 9:00～12:00	・開店前レストランの掃除、準備 ・ロビー業務 ・フロント前での接客(挨拶や振舞) ・講話(ゲストコンプレイン、クレーム対応)	○裏も整頓されている環境 ○情報を共有するための環境整備 ○キャリアの豊富さ ○新しいものへの適応力 ○年齢層のバランスを考えた雇用 ○ベテランの方の雇用 ○若い人たちに背中を見て育ててほしい

#### 4 伸和ピアノ株式会社

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
1日目 A 7月25日(火) B 8月1日(火) 9:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>会社概要説明</li> <li>外装作業体験</li> <li>外装の補修方法</li> <li>クリーニング作業体験</li> <li>出荷作業見学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一台担当することで、モチベーションを高める</li> <li>○企業としての目的と組織の在り方のギャップがある</li> <li>◎常によくしていこうとする向上心</li> <li>◎批判的思考</li> </ul>
2日目 A 7月26日(水) B 8月2日(水) 9:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場全体見学</li> <li>ピアノの歴史、種類、構造についての説明</li> <li>調律</li> <li>内部の修理作業体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成功を得ることへの意欲</li> <li>○業界の現状、輸出入</li> <li>○先を見て企業戦略を立てる</li> <li>◎先を読む力、情報収集、問題解決力</li> <li>◎コーディネート力 ◎知識</li> </ul>
3日目 A 7月27日(木) B 8月3日(木) 9:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>搬入の仕方</li> <li>意見交換</li> <li>振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○非常に高い専門性・技術力</li> <li>○長い経験によるプロの技術</li> <li>○管理職の、部下への意識の持たせ方</li> <li>○わずかな違いに気付くことのできる目、耳</li> <li>◎仕事をしていく中での意識の持ち方</li> </ul>

#### 5 京成バス株式会社長沼営業所

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
8月16日(水) 8:30~17:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>京成バスの事業説明</li> <li>交通事故事例や「ヒヤリハット」の場面説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全について</li> <li>○過去の事例を振り返りながら生かしていく</li> </ul>
8月17日(木) 6:30~15:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務作業</li> <li>乗務員点呼の様子やバスシステムの見学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法などの定められた項目以外にも、しっかりとチェックする</li> <li>○注意していても、チェック指導(乗務員)</li> </ul>
8月18日(金) 7:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行管理の流れについて</li> <li>バス停視察 ・整備工場見学</li> <li>稲毛駅ロータリー街頭見学</li> <li>バスの点検について</li> <li>バス内の広告などのチェック</li> <li>高速バス試乗 ・臨時便手伝い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎当たり前のことの徹底</li> <li>◎自律</li> <li>○お客様目線</li> <li>○サービスの充実</li> <li>◎気配り</li> </ul>

#### 6 ジェフユナイテッド株式会社

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
7月22日(土) 11:30~18:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニセフ合同の親子サッカー教室</li> <li>ユニセフ事業説明、補助</li> <li>サッカー教室、補助、記録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行事は準備が大切</li> <li>○記録は当日の様子だけでなく、設営部分も必要</li> </ul>
8月16日(水) 9:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>募金活動</li> <li>受付、会場設営</li> <li>フラッグフットボール体験教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○突然の変更に対応する力</li> <li>○他の団体とのつながり</li> <li>○企画力が大切</li> </ul>
8月26日(土) 9:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカー体験教室</li> <li>体験教室補助、記録</li> <li>会場片付け</li> <li>風車設置</li> <li>ユナパ見学ツアー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎見通しを持つ力</li> <li>◎コミュニケーション能力</li> <li>◎環境に順応する力(天候)</li> <li>○子供が楽しめるように、大人も参加する</li> <li>◎判断する力(天候)</li> <li>◎体力</li> </ul>

## 7 株式会社千葉ロッテマリーンズ

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
1日目 A 7月29日(土) B 7月8日(火) C 7月22日(火) 12:00~18:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前ミーティング</li> <li>ボランティア活動 (周辺清掃、球場案内、写真撮影、イベント補助)</li> <li>事業説明</li> <li>球場の裏側見学</li> <li>興業ミーティングへの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スタッフ同士の相互理解</li> <li>○チーム、組織で働くことやサービス精神の大切さ</li> <li>◎課題解決力</li> <li>◎コミュニケーション能力</li> <li>◎目配り、気配り、心配り</li> <li>◎知識や経験</li> </ul>
2日目 A 8月2日(水) B 8月9日(水) C 8月23日(水) 12:00~18:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>ちば夢チャレンジプロジェクト手伝い</li> <li>イベント補助</li> <li>受付誘導等</li> <li>パンフレットの折り込み</li> <li>事業所の説明</li> <li>来場者案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○裏方としての仕事の過酷さ</li> <li>○大学生ボランティアとの協力</li> <li>○プロ選手への配慮、気遣い</li> <li>○問い合わせに対して、明確に答えることでトラブルを防ぐ</li> <li>◎笑顔 ◎丁寧な接客対応</li> <li>◎安全面への配慮</li> </ul>
3日目 A 8月3日(木) B 8月10日(木) C 8月24日(木) 12:45~19:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生親子キャッチボール見回り</li> <li>受付補助、最後尾案内</li> <li>ゆめ千葉チャレンジの資料作り</li> <li>配布チラシの作成</li> <li>フィールド内キャッチボール補助</li> <li>球場見学</li> <li>チラシ組み・お客様対応</li> <li>来場者案内</li> <li>イベント補助</li> <li>ボランティア活動</li> <li>研修の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎組織力</li> <li>○子供の学校とは違う表情</li> <li>○担当以外の仕事を把握し状況を見て対応することで助け合う</li> <li>○気付いたことをすぐ連絡</li> <li>○共有することの必要性</li> <li>○サービス業について考えさせられた</li> <li>○域につなげる、ふるさと球団としての取組があった</li> <li>◎伝達能力</li> </ul>

## 8 千葉県療育センターふれあいの家

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
1日目 A 7月21日(金) B 7月25日(火) C 8月1日(火) 9:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション</li> <li>施設見学(点字室、録音室)</li> <li>言語指導教室参加</li> <li>サウンドテーブルテニス(S T T)</li> <li>視覚障害者と卓球クラブ</li> <li>陶芸教室の参加、準備、片付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会参加の場となっている</li> <li>○足が不自由でもできる工夫(道具、ルール)</li> <li>◎コミュニケーション能力</li> <li>○生き生きと活動</li> <li>○利用者が気持ちよく過ごせるような配慮、プログラムの準備</li> </ul>
2日目 A 7月22日(土) B 7月26日(水) C 8月2日(水) 9:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ボッチャ」体験</li> <li>組紐サークルの見学</li> <li>卓球サークルの練習補助、参加</li> <li>パソコン教室</li> <li>サマーフェスティバル準備</li> <li>ふれあいレク補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今、何が必要か見通すこと</li> <li>◎一人一人の実態に合わせた声掛け、関わり方をする力</li> <li>◎バリアフリー等の知識、思考、判断</li> <li>○バリアフリーに対応した設備の充実(点字、手すりなど)</li> </ul>
3日目 A 7月23日(日) B 7月27日(木) C 8月3日(木) 9:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>書道教室参加</li> <li>備品シール貼り</li> <li>サマーフェスティバル手伝い(スナックマジックボール)</li> <li>書道教室補助、作品整理</li> <li>車椅子体験</li> <li>車椅子での施設見学</li> <li>三日間の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分が立場を経験することで、新たな気付き、視点が得られる</li> <li>○振り返り、皆で考えを共有すること</li> <li>○ほんの少しの段差や坂の難しさ</li> <li>○車椅子介護のポイント</li> <li>◎相手の立場をイメージする力</li> <li>◎状況を理解する力</li> </ul>

## 9 社会福祉法人オリーブの樹 オリーブ亥鼻福祉作業所

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
1 日目 8 月 21 日 (月) 8 月 22 日 (火) 8:30~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネジの袋詰め</li> <li>・銅綿作業</li> <li>・公報袋詰め</li> <li>・ウルトラ運動会支援 (ポートアリーナ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○頑張っている姿</li> <li>○自分のペースで行っている</li> <li>○一人一人に応じた作業の振り分け (20~30 年以上) 長年の作業による慣れと工賃アップの必要性</li> </ul>
2 日目 8 月 23 日 (水) 10:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除草作業</li> <li>・資料の袋詰め</li> <li>・検品</li> <li>・金属線 仕分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎観察する力</li> <li>◎対応力</li> <li>○楽しんでいる姿</li> <li>○いろいろな利用者</li> </ul>
3 日目 8 月 24 日 (木) 8:30~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子体験</li> <li>・藍染め製品仕上げ</li> <li>・藍染め製品検品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者の方の体力の必要性</li> <li>○それぞれの方への配慮がされていた</li> <li>◎偏見を持つことなく、相手を頼ること</li> </ul>

## 10 社会福祉法人オリーブの樹 オリーブ鎌取福祉作業所

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
1 日目 7 月 21 日 (金) 7 月 24 日 (月) 8:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙すき講座の補助</li> <li>・ポチ袋作製</li> <li>・作業内容、様子を見学</li> <li>・作物の水やり、草取り</li> <li>・紙漉き作業補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作業中生き生きと、一人一人がやるべきことが分かって活動していた</li> <li>○障害者が社会参加、自立するための能力</li> <li>○基礎的な生活習慣の確立のための学習必要</li> <li>○基本のルールを守りながら、仕事を長時間続けられるような声掛け、工夫が必要</li> </ul>
2 日目 7 月 24 日 (月) 7 月 25 日 (火) 8:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風船の袋詰め</li> <li>・テント張り</li> <li>・手芸班作業補助</li> <li>・リボン切り</li> <li>・二重袋作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎任された仕事に集中して取り組む力</li> <li>○支援学級の子供たちが大人になった時の状況、必要な能力を把握する必要がある</li> <li>○作業所や福祉サービスを理解し、関わっていく必要がある</li> </ul>
3 日目 7 月 26 日 (水) 7 月 27 日 (木) 7 月 28 日 (金) 8:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ袋作り</li> <li>・紙漉き班作業補助</li> <li>・インタビュー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の性格や能力に加えて、個人の自尊心が傷つかないように仕事の割り振りがされている</li> <li>◎困ったときに誰かに伝える力</li> <li>◎周りの人との協調性 ◎観察力</li> <li>○リーダーとしての利用者、保護者、職員に対する熱い思い</li> <li>◎リーダーシップ ◎人間関係を構築する力</li> <li>◎コミュニケーション力</li> </ul>

## 11 南部青少年センター

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
1 日目 7 月 27 日 (木) 9:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部青少年センター概要説明</li> <li>・施設見学</li> <li>・窓口業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青少年に対しての施設の役割</li> <li>○利用者の新規開拓のための工夫</li> <li>○古い備品が多い</li> </ul>
2 日目 7 月 28 日 (金) 9:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サマーチャレンジ手伝い</li> <li>・科学実験手伝い</li> <li>・サマーチャレンジ準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○古いものをどう生かすかを考えている</li> <li>◎あるものを活用して業務に生かす発想力</li> <li>○青少年のためになる講座や催し物を企画している</li> </ul>
3 日目 7 月 29 日 (土) 9:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学実験手伝い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎青少年と関わる力</li> <li>◎利用者へ気持ちよく接する力</li> <li>◎事業の企画力 ◎日程、予約、調整力</li> </ul>

## 12 千葉市科学館

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
1日目 A 7月31日(月) B 7月21日(月) 9:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドダンス</li> <li>・施設見学</li> <li>・プラネタリウム鑑賞</li> <li>・受付業務</li> <li>・10階で展示案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○科学館に対する知識が必要</li> <li>○展示の解説が少ない意図</li> <li>○用具の管理、準備の仕方</li> <li>○子供と楽しむ</li> <li>○小さい子への声掛けの工夫</li> </ul>
2日目 A 8月1日(火) B 8月22日(火) 9:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学工作体験手伝い</li> <li>・8階で展示案内</li> <li>・展示資料学習</li> <li>・受付業務</li> <li>・入退館チェック、券売機の使い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎コミュニケーション能力</li> <li>◎挨拶、笑顔 ◎臨機応変</li> <li>◎お客様の目線に立って考える力</li> <li>◎科学的、数学的な知識</li> </ul>
3日目 A 8月2日(水) B 8月23日(水) 9:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動 (ラウンジ清掃、チラシ準備 スタンプラリー答え合わせなど)</li> <li>・ターミナルワークショップ手伝い</li> <li>・展示案内</li> <li>・片付け、反省</li> <li>・施設案内</li> <li>・ターミナルワークショップ手伝い</li> <li>・科学工作体験手伝い</li> <li>・昆虫クイズラリー</li> <li>・チラシの分配</li> <li>・幼稚園への郵便物の宛名確認</li> <li>・フロア業務</li> <li>・コマ作り</li> <li>・片付け、反省</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子供一人一人に対する接し方を変える必要がある</li> <li>○企画を盛り上げる</li> <li>○安全に活動させる</li> <li>◎ボランティアの方との交流</li> <li>◎展示についての知識、話し方</li> <li>◎情報整理力</li> <li>◎全体を見る力</li> <li>○ボランティアの思いを引き出す</li> <li>○ボランティアが多い</li> <li>○柔軟なお客様対応</li> <li>◎施設に対する知識</li> <li>◎接客、クレーム対応など相手に合わせた話し方</li> <li>◎対話力</li> <li>◎専門性、知識</li> </ul>

## 13 千葉市民ギャラリー・いなげ

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
1日目 A 7月25日(火) B 7月28日(金) C 7月8日(火) 9:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーいなげの概要説明</li> <li>・展示の準備</li> <li>・スポットライト調整</li> <li>・企画立案</li> <li>・講座を考える</li> <li>・教員向けの画材研究会準備、受付参加、片付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域に根づいた施設、活動</li> <li>○稲毛の歴史、説明が分かりやすい</li> <li>○講座の内容を把握、適切な準備</li> <li>◎地域や施設についての知識</li> <li>◎条件を考えて講座を企画する</li> <li>◎気配り</li> <li>◎調整力</li> </ul>
2日目 A 7月26日(水) B 7月29日(土) C 8月9日(水) 9:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校美術展搬入、準備、手伝い</li> <li>・企画立案、画用紙にまとめる</li> <li>・教員向けの画材研究会準備、受付参加、片付け</li> <li>・夏休み子供美術講座の手伝い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎企画力、発想力</li> <li>○子供の年齢によって支援が違うので、適切な支援をする必要がある。</li> <li>○地域の方への接客の仕方</li> <li>○写真家、作家を理解した上での接客対応</li> <li>○講師が何をしたいのか考えている</li> </ul>
3日目 A 7月27日(木) B 7月30日(日) C 7月10日(木) 9:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真家美術展写真展の案内</li> <li>・イベント準備</li> <li>・講座企画立案</li> <li>・企画した講座をプレゼン</li> <li>・千葉大学イベント手伝い</li> <li>・教員向けの画材研究会準備、受付参加、片付け</li> <li>・研修準備</li> <li>・アンケート集計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎いろいろな施設とつながる力</li> <li>○指摘をありがたいと感じる</li> <li>◎人とつながる、つなげる</li> <li>○自分の作品を発表したいという地域の方が多くいる</li> <li>◎新しい企画を提案する力</li> <li>◎地域理解力、対応力</li> <li>◎解説力、接し方、話し方</li> <li>◎思考力</li> </ul>

## 14 千葉県立美術館

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
7月25日(火) 9:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開講式 ・館長の話</li> <li>・美術館紹介 DVD 視聴</li> <li>・バックヤードツアー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営は、多くの職種の方が関わっている</li> <li>○鑑賞の仕方 ○学芸員の方の熱意</li> <li>○フィギュアの精巧な世界観</li> </ul>
7月26日(水) 9:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展</li> <li>・野外彫刻鑑賞</li> <li>・グループディスカッション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○展示の仕方にテーマがある</li> <li>◎作品に対する興味、好奇心、研究心</li> <li>○特別展、企画展に来る人が興味を持てるよう工夫されている</li> </ul>
7月27日(木) 9:00~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学芸員講話</li> <li>・透明水彩体験</li> <li>・フィギュア制作</li> <li>・缶バッジ制作</li> <li>・日本画素材ボックス体験</li> <li>・掛け軸体験 ・日本画体験</li> <li>・ギャラリートーク</li> <li>・ビルダーカード体験</li> <li>・閉講式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゆっくりした時間の使い方</li> <li>○一人への指導に時間をかけること</li> <li>◎興味をほりさげ研究していく熱意</li> <li>○人により感じ方が違う</li> <li>○事前に調べ、相手に伝える</li> <li>◎コミュニケーション力 ◎探究する力</li> <li>◎自分の選んだ作品について調べ、自分なりの解釈を行い、説明する力</li> </ul>

## 15 千葉県立中央博物館

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
7月31日(月)と都合のよい日を2日選ぶ 8:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館業務</li> <li>・朝礼参加</li> <li>・博物館概要、博物館の役割</li> <li>・イベントの受付作業</li> <li>・博物館見学、展示説明</li> <li>・土壌生物について</li> <li>・教員のための博物館学</li> <li>・学校との連携(授業)</li> <li>・持続可能な社会について</li> <li>・展示、保管物の見学</li> <li>・貸出キッドの説明、活用の仕方</li> <li>・千葉の歴史について</li> <li>・企画展案内</li> <li>・「チーバくんのはくぶつかんツアー ○×クイズ」見学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○展示の難しさは、見るだけでは伝わらない</li> <li>○「専門」とは、領域が非常に狭く深い</li> <li>○保存も大切な役割</li> <li>○待つ時間がいかに重要か</li> <li>◎研究能力 ◎専門性 ◎専門的知識</li> <li>◎コミュニケーション力</li> <li>○博物館との連携</li> <li>○研究員の知識が深い</li> <li>◎チームワーク、企画力、プレゼン力</li> <li>◎探究心 ◎忍耐力</li> <li>◎話し合って調整する力</li> <li>○展示されていない保管物が多い</li> <li>◎説明やプレゼン、伝えていく力</li> <li>◎聞く力</li> </ul>

## 16 千葉市立加曽利貝塚博物館

研修日・時間	活動内容	○気付き ◎必要な力
1日目 7月27日(木) 9:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加曽利貝塚博物館の概要説明</li> <li>・博物館、野外観覧施設の見学</li> <li>・博物館の資料整理</li> <li>・博物館収蔵庫の整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学芸員が持っている知識の多さ</li> <li>○確固たる思いを持って取り組んでいる</li> <li>◎専門的な知識</li> <li>○博物館に来てもらうために、様々な工夫をしている</li> </ul>
2日目 7月28日(金) 9:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土器ドキ発掘体験の準備(土を掘り、実際に発掘した時を再現するため、配置を考えながら土器を埋める)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎運営や企画の構想力</li> <li>◎企画力 ◎体力</li> <li>◎課題解決能力</li> </ul>
3日目 7月29日(土) 9:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の掃除</li> <li>・学芸員さんの話</li> <li>・縄文時代の話(考古学の視点から)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティアの方々と連携することで成り立っている</li> <li>○実践をもとにした課題や成果</li> <li>◎コミュニケーション能力</li> <li>◎協調性</li> </ul>



## 4 社会体験研修を生かしたキャリア教育実践事例

社会体験研修を通して多くのことを学び、基礎知識の必要性、自己理解、役割分担等、働くために必要な力が明確になりました。今回受講者が体験したように、子供たちにもこれらの力を育成することが、キャリア教育につながります。キャリア教育は、新しく難しいことを始めるものではありません。指導者がキャリアの視点を持ち、日々の指導の中で、これらの力を育もうという視点を持って取り組むことが大切です。

キャリア教育の視点を入れた授業実践の事例を2つ紹介します。千葉市中堅教諭等資質向上研修の課題別研修授業実践をもとに作成しました。本事例を参考に、キャリア教育の実践につなげてください。

# 事例 1 地域素材を取り入れた道徳の授業

## 1 社会体験研修を生かした授業づくり

社会体験研修を通して、企業の取組や産業の姿を多面的に知ることができた。そして、企業の考え、企業理念を知ることの大切さや興味を持って聞く姿勢の必要性を感じ、日常の指導に生かしていこうと考えた。

知識を深めることや相手の話を聞くことは、人間関係形成・社会形成能力を育むために重要である。そこで、地域の行事や人の思いに触れ、自分の役割を考える道徳の授業を計画した。

本事例は、学習指導要領の内容項目C、主として集団や社会との関わりに関する「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」で、小学校4年の道徳の実践をもとに作成した。

(1) 主題名・教材名 大好き、私たちの地域「夜灯（よとぼし）のかがやき」

(2) 主題設定の理由

自分が生まれ育った郷土は、その後の人生を送る上でも、自己アイデンティティーを確立する上でも心の拠り所となるものである。本主題で扱う郷土とは「生活圏としてとらえた稲毛の町」である。児童はこれまでに、1年生で昔遊びを地域の方に教えていただき、2年生では「町探検」で学区の様子を知ることができた。3年生の社会科「学区探検」、総合的な学習の時間「千葉市の魅力、再発見」という教育活動の中で、地域の行事と関わって、地域に住む人々と交流を重ねてきた。こうした郷土での様々な体験を通して、郷土を愛する心は生まれてくるものと考え。しかし、「郷土の伝統文化」とは、長い歴史を通して培われ、その時々を生きる人々の生活の中で生きてきたものである。児童がこれまでの体験で得てきたものは、現状認識に基づくものである。そこで、本主題におけるアプローチとして、自分たちの地域である稲毛が、かつてどのような地域であったのかを知ることからはじめることとした。

稲毛の町は、発展とともに守られてきた伝統もあれば、消えてしまった伝統もある。しかし、今を生きる地域の人たちの手によって再び、かつての稲毛の風景を今に伝えようとする取組があることを知らせていきたい。取組に関わる人々の思いや願いに触れる中で、郷土を愛することについて考えさせ、地域に積極的に関わろうとする態度を育てたい。

本教材は、児童にとって身近な稲毛浅間神社の祭りを題材として扱う。浅間の祭りは、豊漁を願う意味が込められていたり、かつての海の記憶を今に伝えようと稲毛あかり祭り「夜灯（よとぼし）」が行われていたりしている。こうした取組は、児童の知らない地域の魅力や人々の思いに迫り、自分も地域の一員としてどのようなことができるか考えられるようにしたい。

## 2 キャリア教育の視点

- 祭りに関わる「千葉市民ギャラリー・いなげ」の館長さんから、「なぜ、多くの人が協力しているのか」という疑問を投げかけてもらう。そして、実行委員会の方の話を聞き、課題解決していく中で、自分自身にできることを考えていく。地域の一員としての自分を見つめ、祭りにどのように参加できるかを考える過程が「人間関係形成・社会形成能力」の育成につながる。
- 自分の祭りに対する思いを伝え合う場では、児童同士の聴き合い活動を取り入れる。聴き合い活動では、相手の話を自分の問題として肯定的に聴くため、話し手は、安心して話すことができる。肯定的に聴く活動に継続的に取り組むことで、考えを伝えることや自分の役割を理解するなどの「自己理解・自己管理能力」の育成につながる。

### 3 本時の学習指導展開

#### (1) ねらい

「夜灯」を残そうと取り組む人々の思いを知り、地域の行事に親しみを持ち、積極的に関わろうとする態度を育てる。

#### (2) 展開

過程	学習内容と活動	指導の手立て・留意点（○評価）
導入	1 地域の昔の様子について話し合う。 ・昔は海だったよ。 ・浅間神社でもお祭りをしているよ。  2 稲毛あかり祭り「夜灯」を知る。 ○ 夜灯の様子をビデオで見る。 ・たくさんの人が楽しんでいるよ。 ・多くの人が協力している。 ・手作りの灯ろうをたくさん並べていた。	・総合的な学習の時間に学んだ地域の昔の様子や浅間神社の行事について問いかけることで、身近な地域への関心を高めるようにする。  ・祭りの様子を映像で見せることで、にぎわっている様子や幻想的な風景、人々の協力が気付くようにする。
	なぜ、「夜灯」のために、多くの人が協力しているのでしょうか。	
展開	○ 「千葉市民ギャラリー・いなげ」の館長さんの話を聞く。 ・昔の稲毛の様子を伝えたい。 ・みんなで祭りを盛り上げたい。 ・稲毛のよさを知ってほしい。 ・同じ思いの人と祭りを盛り上げることができて嬉しい。  3 これからの関わり方を考える。 ○ 地域の祭りにどのように関わっていきたいかを考える。 ・夜灯に参加したい。 ・灯ろうを作りたい。 ○ 考えを小グループで聴き合う。 ・自分も灯ろう作ってみたいな。一緒に作ろうか。 ・みんなで、夜灯に行こう。 ・何か手伝えることはないかな。	・夜灯の概要や実行委員の話をしてもらう。そして、「なぜ、多くの人が協力しているのか」と疑問を投げかけてもらうことにより、問題意識を持たせる。 ○ 実行委員会の方の思いや活動を聞くことで、これまでの自分を振り返ることができる。  ○ 地域の一員として、祭りにどのように関わるかを考えている。
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>《キャリア教育の視点》              地域の一員という自覚を持ち、自分の問題として考えられるような発問や助言をする。              「うなずきながら聞く」「同意する発言をする」など肯定的に聴くように支援する。</p> </div>	
終末	4 振り返りをする。 ・学習を振り返り、心に残ったことをワークシートに書く。	・「考えを持てたか。思いを伝えられたか。相手の考えを聴くことができたか。」について振り返るように助言する。

## 事例2 身近な経済に目を向けた社会の授業

### 1 社会体験研修を生かした授業づくり

社会体験研修を通して、IT企業の取組や情報モラル、インフラの一つとしてのITについて知識を深めることができた。また、地域とのつながりがいかに大切なものを学び、今後これらを日常の指導に生かしていこうと考えた。日常生活に直結している商品の産地や流通について、自ら調べ課題を解決していく過程は、課題対応能力を育むための学習でもある。そこで、地域のスーパーで売られている千葉県の特産物を取り上げ、情報メディアを活用した社会の授業を計画した。

本事例は、学習指導要領の社会の目標「日常生活で経験する社会の出来事や情報メディアなどに興味や関心を持ち、生産、消費などの経済活動に関する初歩的な事柄を理解する」で、中学校の社会（特別支援学級）の実践をもとに作成した。

(1) 単元名 「私たちのくらしと生活」

(2) 単元について

本単元は、生徒の日常生活と大変深い結び付きがあり、自立につながるものである。生徒は、バスで通学したり、電車を利用したりすることがある。また、余暇には家族や友達と大型店や催し物、テーマパークに行くなど生活行動範囲が広い。生徒が日常生活を送る中で実際に見聞きしたことや体験したこと、地域社会の様子、交通機関の利用の仕方等を再確認しながら学ぶことは、経済活動に対する理解の深まりにつながるであろう。

そこで、千葉県の特産物と産地を題材に取り上げる。住んでいる町のスーパーで売られている商品の産地を調べる活動を通して、学ぶことに興味や関心を持たせるきっかけづくりとしたい。また、視聴覚機器を効果的に使うことで、位置関係や特産物などへの関心を高め、学習の定着を図るようにする。身近なものについて調べる活動や友達と教え合う活動を取り入れることで、今後の自立した生活に生かせるようにしていきたい。

(3) 単元の目標

- 新聞の広告やテレビで見た宣伝から生活に必要な物を選んだり、見分けたりする。
- 必要とする物を買うために、どの交通機関を利用するか、どの経路を選ぶか判断する。

### 2 キャリア教育の視点

- 千葉県内の特産物や地名を書き込むワークシートを活用した。地図帳で調べることで、地名の理解につながる。また、情報機器を活用して、千葉県内の地名や特産物、ゆるキャラを効果的に映しだすなどの工夫をした。資料をもとに考えたり、グループで確認し合ったりする活動は、相手の意見を聞いて自分の考えを正しく伝えようとする「人間関係形成・社会形成能力」の育成につながる。
- 地域のスーパーの商品の産地を地図帳やワークシートを使い調べる活動を通して、地図帳の見方を聞いたり、友達と答えを確認したりする。分からないことを聞いたり、聞かれたことに答えたりする活動は、課題を解決しようとする「課題対応能力」の育成につながる。

### 3 本時の学習指導展開

#### (1) 本時の目標

- ・千葉県的主要な特産物の産地について興味や関心を持つようとしている。
- ・産地や特産物をワークシートに記入したり、まとめたりできる。

#### (2) 展開

過程	学習内容と活動	指導の手立て・留意点（○評価）
導入	1 カレーライスなどの材料の産地について、視聴覚機器を使い確認する。 ・米（千葉県） ・豚肉（千葉県） ・人参（北海道） ・じゃがいも（北海道） ・玉ねぎ（群馬県）・みかん（熊本県）	・地域のスーパーで扱っている商品の表示や陳列の様子を大型テレビに映すことで、生産地や消費に対する関心が高まるようにする。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">             《課題》 千葉県の特産物と産地について知ろう           </div> 2 千葉県内の特産物を調べる。 ○ 地図帳を使い調べる。 ○ 大型テレビに映された、ゆるキャラや実物の画像から考える。 ・市原市…梨            ・勝浦市…伊勢海老 ・富里市…すいか    ・銚子市…いわし ・八街市…落花生    ・南房総市…びわ ・館山市…菜の花    ・千葉市…人参  3 ワークシートに産地と特産物を記入し、白地図に着色しまとめる。 ・写真を見て、産地名と特産物をグループごとに確認する。 ・ワークシートに産地（市）と特産物をすべて書く。 ・白地図に着色する。 ・活動が早く終わった生徒は、グループの友達と確認する。	・大型テレビに千葉県の地図を映し、各市の形や位置をとらえやすくする。 ・特産物の画像やゆるキャラなどの関連するものを見せることで、地域と特産物を結び付けて考えられるようにする。  ○ 進んで発表している。ワークシートにまとめようとしている。  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>《キャリア教育の視点》</p> <p>それぞれの地域の様子や生産者の気持ちなどを生徒に問いかけ、経済活動への興味を高めるようにする。</p> <p>分からないことを聞いたり、質問されたことに答えたりできるように支援する。</p> </div> ・個の活動の様子を把握しながら、机間指導する。 ・未記入の生徒には、ワークシートに記入するように促す。
まとめ	4 振り返りをする。 ・学習を振り返り、ワークシートで確認する。 ・挙手をして特産物を発表する。	○興味・関心を持って発表しようとしている。

## 5 社会体験研修の振り返り

### 1 課題解決型研修を終えて

- 社会体験研修で企業の方から話を聞くことは、とても有意義なものだった。自分が働く意味や意義を再構築でき、自分を見つめ直す機会になった。企業の考え方で取り入れられることは、学校組織の中に生かしていきたい。
- チームで課題解決するとき、役割分担が重要になることが分かった。また、課題解決に向けての調査やディスカッション、アウトプットを経験しことで、進め方や子供のつまずきの様子、支援が必要な場面などを理解できた。課題解決する活動は、自分の意見を聞いてもらえることの喜びやチームで取り組むことで仲間の頼もしさを感じ、学校で生かせる方法だと実感した。実際にこの研修のあと、係活動の活動計画を立てる際に、筋道を立て、計画を進めていくという方法やアドバイスの仕方を実践した。
- 企業の仕事内容や理念、組織体制について学ぶことができ、学校という組織を見つめ直す機会となった。また、学んだことや考えたことをプレゼンテーションという形で表現する活動を通して、キャリア教育についての知識を深められた。

### 2 実地体験型研修を終えて

- 新しい発見がいくつもあった。お金を払って来てくださるお客様をお迎えするという精神、税金で運営されていることに対する責務があるということについてなど、自分の働き方を見直すきっかけとなった。職員として、お客様である子供や保護者に対応することで、相手に応じた話し方や内容について考え直すことができた。
- お客様に目配り、気配りするなど、おもてなしの心を感じた。本日の課題を振り返り、次の日に反省点を生かし改善していくということは、教師の仕事にもつながっていくので今後生かしたい。普段と違う業務に携わることで、仕事に対しての姿勢、取り組み方、責任を改めて学んだ。
- イベントを行う際の準備や天候判断などは、学校行事に重なるものがあった。また、地域とのつながりについて学ぶことが多くあり、客観的に学校について考えることができた。
- 社会体験研修を通して、求められる子供の態度や技能が明確になった。体験した「紙すき」を生活単元に取り入れて実践した。

### 3 成果と課題

平成 29 年度の社会体験研修は、24 の事業所で受け入れていただいた。「社会の様子や企業の考えを学ぶことができ、大変有意義だった。」と答える受講者が多く、充実した研修内容であったことが伺える。特に、企業のもの考え方、理念、戦略など具体的なテーマに基づいた調査やディスカッション、アウトプットの経験は、受講者自身のキャリア形成の一助となったと考えられる。研修を通して専門性を高めたり、人との関わり方や学校での立場を客観的に見直したりすることにもなった。これらの成果は、児童生徒への指導や学校を支えるスタッフとしての働き方に大きな影響を与えることであろう。

今後、社会体験研修に協力してくださる事業所の方に、この研修のねらいを理解してもらうことが大きな課題である。事業所の方に、教育の現場や研修生である中堅教諭に求められる教師像を具体的に示しながら丁寧に説明していきたい。

**平成 29 年度 千葉市中堅教諭等資質向上研修  
社会体験研修プログラム  
～キャリア教育の推進に向けて～**

**【発行】** 2018 年 2 月  
千葉市教育センター  
〒263-0021 千葉市稲毛区轟町 3-7-9  
TEL 043-285-0900  
FAX 043-256-1352